



開卷驚奇俠客傳

第四集

五

3157  
20



3157  
20



治

父池

開卷驚奇俠客傳第四集卷之五

東都 曲亭主人編次

東都曲亭主人印

第二十九回

女俠死猿と購ふ駿馬骨の擬ふ  
心猿發狂一々大奸黨を懲艾せ

さてその節はまはぬ。却説楠姑麻姫の思ひかけを叔父正直那島山持永と婚姻の義を譲りて呆るまを腹平死を色あかぬ。かきかき果て嘆息しつたる。この身所因云云と御心かけられて示さぬ。古の趣理し似て候はぬ。婚縁の。るの素より情願を。稍東西を知る。比の外伯母尼前の日暮御徒弟を。宜く聊思ふ。まの今形を改ねども。年来自屬精進。心出家の異る。亦脱れ。天縁を身の人妻ある。まの。世の増かひも。楠氏一家の怨敵。那の子の妻。もれを薦め。論の婚。か。時と勢に附て。榮利を走入。然る。恥を知る。賢と思ふ。通人の情。れ。道を守り。離の人。念を忠孝節義の誠。心と做さる。那榮利と權勢を動さ。まの。今論

さて、今や南北両帝の御合體をくすくす足利氏の家臣と忌嫌はたしめられ、井も亦ふふと死  
つゝ、然れども、即男體を吉野の帝の敵慮に従ひ、又當今仕まつる足利氏と肩を比て、俱忠義を  
盡さんと欲するも、昔も徳頼朝卿は仕給和と秩父と即是、那相田浦の黨を、君が忠義  
親を忘れたる、讎と肩を比し、識者の許さざる、識りし奴家の侍君も、何を所因の怨と、比て讎言と録  
まど結んや、いふも多きを、這河内ハ親代々楠氏封爵、はるや足利氏寄りの大将、畠山義深基  
國父子の爲、許す攻伐、され、竟言、折れ勢竭、て千劍破の城、成る由、鳴呼哀なる伯  
父君との、迹と首陽の山、脱れて生死存亡、安定るも、家尊の大人、京師也、當時戦死の、泣えあり  
まど、鴉の鳴、皆いなり、も、忘る、問ひる、然る、談の、許由、曝布、耳洗、去り、去り、欲さる、諍言、似  
たり、軟約、人の子、たる、その、父母、生む、と、婚縁、と、厮結、と、非礼、なれ、野合、と、奴家の、幸を、襦袢中、より、  
二親と、喪ひて、今、中、告る、由、なれ、も、墓、初、木、主、許、て、吉、又、倍、と、告、稟、する、親、の、神、灵、の、飲、ひ、く、  
許さ、せ、ぬ、と、り、を、み、つ、思、ひ、ぬ、か、と、死、身、の、心、心、の、親、を、後、小、父、を、親、と、姪、の、猶、子、の、子、と、い、ふ、

記の本文あるを、親なり。今、小く、小父の處分、縁と。と宣はる、然知、と、傳、れ、自、取、も、懼、る、を、死  
身の素より我先考の義絶の、弟、も、禮記の文中、馮の、なり、然、は、を、直、心、も、悔、り、多、く、之、推、し、た、あ、  
ん、忠、孝、節、義、の、與、ら、れ、ぬ、怒、り、も、た、ら、ぬ、と、い、ふ、を、然、は、論、さ、ん、を、駕、を、枉、け、言、を、費、あ、ら、ぬ、死、眼  
前、の、頭、影、言、前、で、身、と、墨、漆、の、衣、更、ん、豫、覺、期、の、必、る、恨、の、必、を、涙、吐、ひ、烈、苦、憤、激、非、義、を、死、君、あ  
道理、陳、さ、る、氣、色、凄、な、けれ、直、直、の、愁、困、果、々、沈、吟、七、亦、い、も、あ、ら、ず、も、い、つ、ら、備、る、肩、を、妨、  
合、抗、て、や、咄、姑、摩、姫、腹、を、立、を、和、女、の、心、刺、然、も、あ、ら、ず、と、我、も、亦、豫、も、思、は、り、い、あ、ら、ぬ、も、權、家、の、意、囁、推  
辞、由、り、枉、て、那、意、と、傳、へ、の、い、ま、も、い、ま、も、い、ま、も、那、人、亦、左、中、右、中、の、各、登、座、を、以、て、這、て、衣、下、を、あ、ら、ぬ、也、世、に、  
つ、の、人、の、與、不、撥、役、せ、れ、て、已、と、枉、と、い、ふ、和、女、郎、官、途、の、苦、界、と、知、ぬ、志、氣、と、立、身、を、の、潔、く、と、い、ふ、べ、  
ど、不、争、の、徳、を、自、家、安、全、柳、の、枝、に、雪、折、る、和、女、の、身、を、會、わ、ぬ、我、怕、り、禍、鬼、の、身、を、置、く、處、を、  
そ、の、折、り、正、直、か、悠、然、と、思、ひ、後、悔、も、も、遅、く、も、亦、重、無、光、波、安、親、切、の、い、ぬ、い、ぬ、傷、り、せ、ん、暇、  
ま、と、無、良、氣、の、刀、を、合、身、と、起、其、次、の、間、の、垣、衣、が、聲、立、て、河、備、様、の、死、立、ふ、と、報、る、と、い、ふ、女、次、  
大、家、傳、寫、日、拜、六、二

遠く先老正直とて、揖と先老より玄園の式室まで送る。信りかも姑麻を姫の敢物も思ひ、垣衣の件の一談のひ知るとる。垣衣の次の間、信り胸安らふ思ひ難。あつぐ、かのあつぐさやつ、ひひらみさつ。叔父君の箇様々々、吟詠の詞の未だ、信々と那崖略、其告て、姫の御心強に、父の烈かり。叔父君の箇様々々、吟詠の詞の未だ、かまへる。とら譚を、女次郎の眉を頻卑ゆ。姫上の何と宣ふとる。諫票を便りのあつ、聰明睿智、おほき、怒り来と、語と過さ、匹夫と同か、るもあつ、然に諫票ささ、御、御深慮、おん言、お出、秘めぬ、と諭せ、垣衣點頭、誠不然と、忘る不安、取胸、措、七煩、主思、情、地、禱、神、加護、佛の利益、且暮、お台、日とて、多りけり。安下、某生、再説、楠式部、輔、正直、八九の莊院、退り、折宿、所、い、立、か、下、赤坂、多、陣館、赴、た、れ、持、永、秋、出、迎、て、雨室、お、請、下、る、管、待、日、屬、お、弥、増、せ、と、正直、辞、せ、席、お、着、る、持、永、も、ち、對、ひ、て、在、下、方、絶、途、中、も、持、病、の、疴、積、猛、お、發、り、て、堪、え、な、い、と、稟、上、り、あ、つ、と、勉、で、推、參、仕、の、願、ひ、を、左、右、と、遠、き、り、と、い、ふ、持、永、も、ち、つ、て、お、安、り、ぬ、お、小、七、お、某、生、も、あ、つ、と、心、地、の、い、ふ、と、い、ま、る、と、同、い、正、直、頭、と、掉、て、不、然、と、る、お、あ、つ、

お、持、病、を、お、程、も、く、瘥、る、と、い、ふ、久、く、席、お、堪、え、な、か、り、と、い、ふ、四、下、を、さ、る、お、其、頭、お、人、の、お、り、お、思、地、お、聲、お、情、め、豫、死、憑、の、一、美、お、ら、け、お、九、の、莊、院、へ、赴、り、か、ま、い、と、お、持、永、遠、く、膝、を、枕、を、満、面、着、色、憶、お、も、額、お、合、く、と、お、嚴、寒、の、折、り、お、さ、お、脚、旁、煩、へ、け、か、那、男、お、首、尾、甚、麻、を、お、と、同、い、正、直、嘆、息、く、在、下、短、才、納、辯、を、お、和、君、の、與、お、言、を、惜、ま、お、姪、女、お、説、く、お、利、害、を、お、と、く、お、さ、く、婚、姻、を、薦、め、か、も、姑、麻、姫、敢、徒、を、お、仲、時、伯、母、智、正、尼、の、徒、弟、お、る、お、身、を、お、猶、佛、縁、の、執、せ、お、ら、け、ん、お、形、お、改、ね、お、年、中、勇、猛、精、進、と、お、心、お、出、家、お、異、を、お、取、ま、お、男、子、お、見、ぬ、お、云、と、云、と、薦、め、ぬ、お、今、面、前、お、頭、お、言、お、前、か、て、人、の、望、を、塞、ん、ぬ、お、ひ、面、色、お、薄、く、て、當、面、お、う、お、ゆ、り、お、信、れ、お、發、番、お、薦、め、ぬ、お、在、下、る、お、お、樹、お、無、る、お、死、女、子、お、ぬ、お、何、お、女、お、救、苦、を、お、勢、い、お、既、お、相、定、め、お、ひ、お、腹、立、と、お、罵、り、て、那、里、お、退、き、お、い、お、持、永、お、あ、お、眼、中、忽、地、火、を、生、て、正、直、お、佐、と、疾、視、て、お、見、ら、う、左、右、お、の、お、さ、お、か、へ、け、ん、面、を、和、げ、お、ち、領、を、て、原、來、お、姪、女、お、果、敢、る、と、て、お、家、の、情、願、お、ひ、お、欲、を、お、お、実、を、お、ん、お、這、嫌、談、と、云、と、兼、引、さ、り、お、以、お、あ、り、け、り、叔、父、お、の、お、某、老、の、お、如、で、お、救、苦、お、お、婚、姻、お、多、お、餘、人、を、お、憑、む、お、お、先、且、氣、お、脱、は、り、お、便、宜、お、あ、つ、高、議、敵、お、憑、心、お、あ、つ、と、る、お、お、

風望成就甚也。今番安老の御親切の胆を銘とて忘らざる最辱り候と即の願美しう正直初心  
おめて感て玉天に形を稍果果と頭を拾けて通愛を覚仁大度一朝の怒ま人を傷る婦人難  
敢惑の世未丈夫を人の誰も恠とあるは先事教書に拙いと宛恨をあれんと難く来場  
折を心宛のあより一御一言を胸膈開けて持病も過半瘥るぬ症可の後推参しと復を拜謁作  
飲びと舒告別と河備の宿所還る子。介程不持亦正直目送り果て猛可泰勝媒鳥門を奥  
な便室召しお。那姑麻姫と姻談の支成さう一趣。箇様々と解示しと那正直奴が無拵るのあも足  
らぬと。姑麻姫才圍て推辞し出家の情願ありとのりの憎地脱路も。その附れぬ注連を引る用心  
をのこ違けれ我を機を猜せぬ故意怒り見いさ。箇様々と正直より九响を。後謀人與に  
却けふと。汝達各智恵裏と揮て十分思ひの隨多。鬨買やて。おそれて速答難く沈  
吟し。中泰勝亮介と。仰定無理の元を愚案もよ。愁不水人を。術と誘い  
か。還て支の障り。お。首尾好らぬ。差路。物のいと。故。然。詩。語。要。那美人外

お。折。の。親。見。勢。あり。捕。綱。と。擡。擡。の。輒。死。入。及。び。他。死。極。を。従。と。或。  
浮。酒。を。り。或。の。尉。の。小。詭。話。も。て。徐。不。蕩。の。い。多。子。の。原。是。水。性。之。漸。々。心。動。り。佳。境。入。了。  
で。い。は。在。下。甚。里。在。り。一。時。稻。城。が。見。信。夫。の。像。の。如。し。奈。集。の。會。う。り。従。見。を。術。と。畫。せ。り。那。小。  
六。奴。不。妨。せ。り。本。意。を。得。ず。支。敗。れ。這。身。を。追。放。せ。れ。初。より。謀。計。の。拙。れ。所。以。信。夫。が。  
助。助。と。い。は。れ。る。れ。と。い。は。し。媒。鳥。の。推。林。示。せ。る。も。は。ら。う。九。庸。の。女子。を。せ。捕。綱。を。奈。集。の。も。せ。あ。  
那。姑。麻。姫。武。藝。刺。姚。鞠。繪。半。額。優。勇。婦。人。加。ふ。幻。術。あり。と。云。せ。非。除。身。勢。を。向。ふ。の。ふ。  
折。を。其。頭。あ。り。竹。筒。き。て。あ。り。齊。天。行。者。豪。表。老。師。の。神。使。ひ。鬼。を。驅。り。法。術。不。可。思。議。今。古。獨。歩。の。活。佛。と。  
世。評。の。憑。る。と。云。は。れ。那。姑。麻。姫。の。幻。術。之。厭。勝。の。秘。符。を。き。然。老。師。の。正。法。を。幻。術。破。れ。る。甲。斐。多。の。武。藝。  
刺。姚。鞠。の。足。を。き。行。者。の。徴。迎。て。御。商。量。お。れ。か。と。糸。持。永。點。頭。て。の。謀。計。極。め。佳。京。師。人。を。遣。し。  
の。行。者。の。迎。先。の。准。備。を。せ。か。と。糸。詞。の。託。の。提。接。の。若。黨。の。吹。を。き。次。の。回。志。を。き。重。紙。門。の。

那方より。票上の。齊天行者の。詣來ぬ。何処請よ。あまき。と。報も。持承ら。ち。成て。を。幸ひ。甚。快々。這。里。

案内せよ。と。若。黨。を。引。て。走。り。て。面。亭。へ。退。り。る。程。も。わ。け。豪。衰。の。提。接。の。若。黨。も。引。て。走。り。

來。り。し。持。承。并。亦。勝。媒。鳥。門。主。僕。齊。一。立。迎。へ。て。上。座。請。ひ。茶。を。薦。め。て。實。王。の。口。誼。説。り。折。持。

永。憶。を。膝。を。找。て。老。師。け。の。光。臨。料。ら。せ。り。幸。ひ。晚。生。秘。密。の。二。美。の。老。師。の。指。教。を。請。ひ。欲。し。あ。る。京。

師。脚。力。を。走。り。を。多。し。折。り。し。を。所。以。箇。様。々。と。那。姑。麻。姫。と。娶。ん。と。欲。す。其。の。顛。末。を。解。示。さ。し。と。あ。

け。は。豪。衰。無。推。禁。め。を。美。の。拙。僧。豫。も。法。術。を。と。具。不。知。れ。因。て。件。の。密。策。を。資。け。あ。せ。ん。あ。り。た。

大。殿。ど。い。然。氣。多。皇。衰。不。根。徒。の。勢。ひ。と。票。主。與。と。の。思。え。あ。げ。て。昨。夕。這。地。に。來。着。あ。れ。天。殿。の。馬。せ。め。

遊。佐。の。い。さ。り。あ。れ。那。城。内。に。止。宿。て。目。今。去。來。の。現。身。の。這。地。根。徒。の。那。姑。麻。姫。と。娶。ん。與。之。抽。足。之。媒。

妯。あ。ひ。の。い。さ。り。可。る。ひ。已。と。い。は。し。ま。し。勢。ひ。と。奪。合。ん。と。欲。す。あ。ま。し。我。法。術。借。ら。れ。他。の。武。藝。幻。術。の。敵。

本。か。た。い。の。い。さ。り。と。肺。肝。を。現。さ。す。機。密。を。知。ら。れ。主。從。面。目。一。且。驚。び。且。感。敷。せ。し。中。持。承。の。憶。

也。百。會。を。拊。つ。ら。ち。合。笑。て。老。師。の。法。勘。神。出。鬼。没。の。中。の。情。の。神。子。道。磨。の。法。師。も。及。ん。既。不。亮。查。せ。れ。如。老。

師の。補助。の。わ。け。の。素。懷。を。遠。く。と。か。り。却。什。麼。七。好。の。名。同。の。豪。衰。般。身。低。り。然。姑。麻。姫。の。幻。術。

皇。衰。亦。拙。僧。看。破。て。那。分。際。の。と。知。り。我。厭。勝。の。秘。符。を。七。厭。ま。勿。地。醉。み。如。幻。術。武。藝。を。目。撃。

ら。這。陣。館。を。ま。え。に。使。れ。先。那。女。子。の。外。若。折。を。張。て。美。紫。秘。符。を。ち。被。て。却。伴。當。趕。走。り。し。姑。

麻。姫。を。束。縛。折。一。種。の。名。香。を。燒。煙。し。我。心。猛。恣。情。慾。起。り。仇。ら。ん。と。擇。む。ま。る。男。子。と。俱。不。臥。ま。

欲。を。折。臥。房。へ。抱。き。去。る。公。後。の。隨。意。ま。る。何。の。防。止。も。な。し。と。備。若。笑。の。説。話。を。持。承。耳。に。傾。け。

我。も。亦。未。勝。の。勢。を。喘。ぐ。如。く。息。を。吐。き。現。滿。の。妙。術。奇。法。就。中。の。香。の。後。を。ま。る。欲。し。は。物。之。效。

驗。の。ま。る。ま。る。秋。柳。傳。來。甚。麼。事。と。同。の。豪。衰。然。然。と。拙。僧。所。持。の。名。香。の。唐。客。亦。商。門。を。煉。用。

ら。紫。稍。花。鈴。鈴。膏。の。類。も。亦。亦。紫。稍。花。の。物。原。是。龍。の。精。使。之。龍。海。上。不。交。を。後。の。精。凝。り。大。

洋。の。浮。ゆ。の。形。連。珠。不。似。ら。れ。を。あ。げ。て。紫。稍。花。の。其。其。種。の。物。其。其。採。り。昔。昔。和。の。偽。作。

本。利。を。食。り。人。を。愚。不。を。る。ま。る。ま。る。故。の。効。又。拙。僧。が。所。持。の。法。書。上。古。素。女。の。昔。帝。の。後。け。ま。る。

ら。ま。る。新。方。宅。の。海。内。雙。の。神。意。弓。射。道。鏡。を。り。て。至。る。の。龍。の。ま。る。の。不。隨。喜。破。負。香。即。是。





何れも何れも何れも何れも





伴と去らば今朝も準備せし程の由に遊佐就盛下知秋到来尋向家謀一名を  
 下只今とあれ安次の訝り多し。姑麻姫の身邊逃馳しては、憊るるを小可那城内  
 赴給え争何せ。御上墳の友伴立立り。加以天の雲の重催ひを、願ひは御寺詣り  
 且多住のあり。明日後日比多。姑麻姫も、否と。猛障り。你が伴は、年  
 毎不いと定め。上墳と。延え。天の暗も。結陰も。身は、轎子も。無雨衣公龍。其頭の  
 概念守之守護の招は。公事。常閑。去るも。快く。少。安次。諫難。多。御意。従  
 ひま。那里。所要。果。迹。追。着。徐。出。言。兼。考。退。馳。馳。他。招。せ  
 悄。示。我。憊。の。小。け。伴。立。日。者。何。と。世。間。胸。安。ね。通。首。尾  
 心の。和。郎。の。手。の。交。轎。子。の。頭。離。れ。何。変。神。女。姫。上。好。女。前。知。か  
 守。の。又。云。心。之。屬。て。要。時。由。衣。裳。改。め。伴。當。二。名。從。遊。佐。城。を。介。程。姑。麻。姫。の

日高午の左側如意宝珠院赴ふ。身は轎子より無て女伴の姁姫梅香奴。他は少  
 んと。暗。雨。衣。公。龍。持。せ。轎。子。農。僕。を。り。受。昇。さ。け。任。而。這。主。僕。七。名。入。村。を。出  
 一。緒。藤。は。齒。擔。桶。の。初。赤。杉。の。榊。削。肩。の。山。圖。の。時。路。も。既。而。近。く。程。姑。麻  
 姫。轎。子。の。窓。より。を。斬。り。那。深。山。雪。餌。餓。里。出。莊。客。們。殺。れ。る。を。わ。ら。ひ  
 又。昔。唐。山。駒。馬。の。骨。買。る。者。さ。御。寺。詣。の。途。中。で。那。野。人。の。腹。不。蘇。我。亦。慈。悲  
 象。収。買。令。と。御。寺。の。主。を。身。に。馳。せ。近。く。傍。の。地。を。透。す。莊。客。們。立  
 對。聲。を。せ。老。圃。們。の。什。麻。之。猴。何。等。通。最。慘。ら。教。え。る。頃。も。舌。齒。之。雷。の  
 買。宣。官。商。量。甚。麼。を。南。之。伴。莊。客。們。擔。荷。の。猴。也。親。方。且。也。如。這。書  
 生。牝。猴。似。け。圖。外。也。十二。貫。奴。の。身。也。時。多。想。其。曳。拔。啖。以。背。肉。之。程。之。屋。偷。之。憎。甚。堪。我。們。二。名。今。朝。も。那。里。埋。伏。と。方。儘。殺。も。殺。了。肉。の。夜。食。の。腹。肥。之。





精妙之惜潑然雀躍者勇志赤坂之夕夜去けり姑且と其介の言は松原から来て獨四下見かゝり  
な雨衣籠より起し肩の載て宝珠院に投走ると約五町許り小出稲塚に梅香も他轎夫の既も聚合  
まじりて其介の稍かろき者ぞちて齊一立迎てめい浴衣を合衣と後より先中身情々宝珠院から来た  
中梅香偷足走り玄關より客殿に赴て却姑麻姫の並松原也あつ支の趣と首様をそと其の報れ姑麻姫  
領くも笑ひて袖を掩ひり候り一程知客女僧の稍著切切と調へ果て先姑麻姫を登り梅香と餘  
伴當も送令庖門より吸入れて蕎麥をささげし物欲し折られ強きも碗を食せ飽きよも吸ひり  
時暮傾て下晡より一か姑麻姫の知客女僧の致しと演告別て尼台還りて宜く憑き候か来春後  
参詣と法顔と拜まゝゆめと果て身と起せ梅香先走とて先立と喚ひり當下女僧の管待と疎略  
りしち陪話と玄關を送りぬる姑麻姫の轎子より寄書と訪と成轎子のいふもあけり同去姑麻姫又

正否御不聊醉然且存程のありと豫吟なりけり轎子山門の外直登りしりゆへさる然氣多伴當の  
從之徐退る門前宅頭巾着深草草路を易く暮果る時候八九社院還りて座下某生再説旨亦阪身  
陣館去今朝より姑麻姫略奪る迄準備と成程木綿張の荷三郎遊佐城門より事よけれ持永下知  
荷三郎先行水浴を遠侍召登り豪表と共侶小出荷三郎對面と今番計較那里の隊配と言込  
るく其亦豪表亦姑麻姫の轎子小折の兎之誨え秘符と遣とて準備悉整と今程木造泰勝條  
持媒鳥那轎子楓葉加持の麻索二條と豪表より受合と各潛撥末と西の腰を跨荷三郎那力名後  
之豪表が指示したる宝珠院の這方松原と投てをけり介後豪表一いつて本意持永と候とて  
男子小効事女子老少醜美小ハト云這香と鯉と死と負烈と云勇と怒と男と女と候とて  
吸ふ必禁示しつる制めとこれ隨喜破負香と喚做と乾押葉の三三那介が姑麻姫の轎子  
立かめぬ折先這香と罵と煙と轎子の内へ入れ他が心湯と後轎子も扶出とある男子も罵け  
去這一役長總と課と待女郎と做とてよけれ餘の修法の徳を言詳と其示其持永と姑麻姫の懐も入



おちき

おちき

おちき

有像第五



酒のまね妹あきあき顔のうら  
 代女使免猴開赤阪別荘  
 恋をさえけり様かもし

今を勝

細道  
 初明寺護

ととり

作  
 車  
 三

ちと天の秋の地味喜快樂のさうあられも。夏成るまじと慎一。一滴の酒を飲まず先長總の君近つて計較の趣を。
地と天の秋の地味喜快樂のさうあられも。夏成るまじと慎一。一滴の酒を飲まず先長總の君近つて計較の趣を。
竹様々々鮮示と姑麻姫と轎子も扶出進退を。豪表と共信の町堂小敷け。是のあなれは。待の準備を。
志ののまければ持永いけさる。冬の日まき長く。覺て居て見吉左右。今夕と多き。けり。却説のあなれは。
泰勝媒鳥の姑麻姫と。さる隨小畧奪う。さる轎子と力士の送代は早々。荷三郎も從て飛べ。
悠と注進と。持永教い走り出。轎子と。隨小畧奪う。早入り。程は。卸居を。準備の香爐を。
破自香と轎子の頭近。坐措け。長總のあなれは。扇と。さる。轎子遣置。さる。半响許既中。
日の暮れ。持永下知。燭臺大燭燭と。點て。坐席の四隅。措け。白書。さる。不明。けり。
香の煙の立ち。さる。時分。今。轎子。さる。索と。解き。さる。媒鳥と。泰勝。力士。
索と。稍解。棄れ。長總。ゆき。立ち。姑麻姫と。扶か。さる。颯と。さる。轎子の内。身。
生。さる。氣力。の本。復せ。さる。連。さる。艶香。の。烟。の。蒸。れ。て。毛。類。さる。
鬢と。酷く。檢。さる。人。を。擇。ま。抱。着。勢。の。意。外。光。景。さる。大家。の。聲。と。駭。聞。て。さる。舞。台。踏。所。を。知。り。の。絶。て。さる。けり。

第四十回 隱形の術 豪表長總と救ふ 如醜の交 泰勝荷二小結ぶ

ひびけ。さる。美入。化。と。御。孫。と。做。る。れ。を。外。朝。考。れ。昔。も。信。る。奇。談。の。唐。の。孫。恪。の。妻。袁。氏。良。人。恪。と。俱。
峽。山。寺。の。遊。折。衆。猿。の。林。間。拈。抗。せ。て。遠。見。て。詩。と。吟。猿。と。做。り。所。を。知。ら。ぬ。故。事。を。成。り。を。
然。る。と。あ。ら。ぬ。知。る。も。持。永。主。僕。の。姑。麻。姫。と。思。ふ。も。似。と。轎。子。の。内。身。猿。猴。の。鼻。を。さる。袁。氏。の。胆。を。
淡。と。吐。嗟。と。叫。び。謀。け。の。御。孫。の。奔。狂。を。跳。懸。り。持。永。抱。着。ん。と。さる。持。永。駭。れ。振。拂。て。逃。れ。媒。鳥。
泰。勝。們。の。推。力。を。突。退。け。遣。違。へ。捕。拵。と。角。を。快。と。宛。飛。鳥。の。如。く。縦。横。着。破。の。奔。走。と。目。今。前。小。
存。飲。さ。る。忽。然。と。後。よ。り。又。抱。着。狂。能。奮。發。同。類。異。類。の。分。別。も。る。情。慾。越。火。の。如。く。禁。び。も。あ。ら。
れ。大家。差。辱。せ。せ。術。も。さる。黄。縁。ら。れ。と。那。へ。避。け。這。逃。々。不。狂。人。共。侶。不。狂。者。中。長。總。の。妻。の。姑。麻。姫。と。頭。
影。さ。る。少。毛。を。俯。さ。る。伏。不。起。の。御。孫。の。頭。と。根。せ。ら。る。喉。の。筋。の。後。落。さ。る。合。抗。と。檢。れ。影。さ。る。
ね。ん。と。程。の。猿。猴。の。身。女。の。差。別。も。さる。又。長。總。の。走。楸。り。吐。嗟。と。叫。び。推。轉。と。背。小。登。り。抱。締。て。溜。め。り。丸。形。勢。を。

孫恪の妻 袁氏 良人 恪と俱 峽山寺の遊 折衆猿の林間 拈抗せ 遠見て 詩と吟 猿と做り 所を知らぬ 故事を成り 然るともあらず 知るも 持永主僕 姑麻姫と 思ふも 似と 轎子の内身 猿猴の鼻を 袁氏の胆を 淡と吐嗟と 叫び謀け 御孫の奔狂を 跳懸り 持永抱 着んとさる 持永駭れ 振拂て 逃れ 媒鳥 泰勝們的 推力を 突退け 遣違へ 捕拵と 角を 快と 宛飛鳥の如く 縦横着破の 奔走と 目今前小 存飲さる 忽然と 後より 又抱 着狂能 奮發 同類異類 の分別も 情慾越 火の如く 禁びもあ られ 大家 差辱せ せ術も さる 黄縁ら れと 那へ 避け 這逃々 不狂人 共侶不 狂者中 長總の 妻の 姑麻 姫と頭 影さる 少毛を 俯さる 伏不 起の御 孫の頭 と根せ らる 喉の 筋の後 落さる 合抗と 檢れ 影さる

長總はもと聲ゆり立連の帮助と承れり。立寄るに又賞縁をく破。毒氣も大人氣存れ家名を多く迎ふ。長總はもと困東て及復さる。胸櫓にも項強く壓着りて息も絶。終つて大家も不堪れ。猕猴を數を走り。程もあま家表も調伏の印と結んで。口念を先支と共。猕猴一聲苦と叫び仰及仆けて死でり。是を更々鎮座も。理の所持永怒め堪も。聲苛立てをこれ媒鳥木不若們何を所役と。様も不覚を取らる。今も許あま。推並ては敷もせ。这里平と。敦圍。泰勝媒鳥駭怕れて共侶使。唯理のされも。在們的初も。毫も脱落し。高那松原。樹隱れて。程。轎子も。駕。轎添の婿と。轎夫と俱。五名の伴當と。從て如意宝珠院のく。必是姑麻姫ある。推量され。詳し知く。轎中。一個の力士と。跡も跟て。後方と相極め。思。錯も。轎子。宝珠院。昇れる。登時。力士の前。經紀人の家。立ち。今。轎子。駕馬。宝珠院。参詣。何処の。人。知。外。多く。回。屋。主。答。他。九村。隠れ。木。桶。姑麻姫。刀。研。そ。姫。の。侍。時。寺。内。同宿。多。九村。宿。徒。の。折。参。詣。の。伴。當。三。回。善。道。這。頭。知。ら。ぬ。ま。正。可。の。心。え。の。疑。い。も。豫。老。師。の。教。儘。と。さ。か。さ。か。

等程。山。向。傾。ゆ。瞬。時。比。姑麻姫。初。轎。子。も。駕。馬。寺。も。出。て。来。ぬ。定。れ。る。隊。配。是。高。麗。の。轎。子。那。秘。符。を。多く。投。げ。我。們。伴。當。趣。威。走。り。加。持。せ。ら。る。麻。索。と。候。も。轎。子。重。膝。へ。昇。り。来。る。途。中。赤。猴。不。變。せ。後。を。い。ず。知。り。の。懐。不。是。那。妙。の。幻。術。中。を。い。る。と。邊。代。の。釋。と。持。永。の。怒。り。兼。て。宅。中。聴。こ。聞。責。れ。家。表。小。童。時。と。推。寛。解。部。君。の。品。終。い。這。人。の。初。を。多。老。初。の。腹。不。敵。悔。も。用心。疎。忽。す。う。わ。わ。那。幻。術。の。頭。毛。二。條。抜。合。ぬ。氣。吹。は。り。物。の。形。體。不。成。ま。り。姑麻姫。の。胸。を。抱。て。依。衆。人。を。愚。さ。す。這。變。體。は。林。法。也。始。り。て。七。の。輒。扇。扇。走。り。ま。り。拙。僧。が。脱。後。時。聊。後。れ。た。る。剛。才。破。形。の。秘。印。と。結。んで。口。先。支。と。念。せ。り。赤。猴。の。忽。地。聲。を。是。を。思。ひ。合。へ。又。拙。僧。何。事。前。より。知る。奇。特。の。事。さ。す。這。轎。子。内。の。姑麻姫。も。悟。り。や。う。と。相。心。を。な。し。と。被。さ。る。者。も。あ。ら。う。拙。僧。も。莫。人。の。用心。危。は。賢。く。安。ん。で。愚。さ。す。の。又。物。を。現。る。事。遠。き。心。と。蓋。て。近。く。疎。多。る。事。の。拙。僧。も。恁。御。使。人。の。來。り。來。り。首。尾。を。注。進。せ。り。今。更。沾。む。所。を。敢。て。近。寄。を。查。せ。り。且。其。の。處。取。合。も。違。り。けれ。ば。只。名。香。の。薰。り。十分。な。さ。り。却。云。云。の。い。へ。も。是。千。慮。の。一。失。頭。人。達。の。越。度。不。あ。る。必。必。か。ら。い。や。



人を補助して身の拙さを以て瞞る。勸解。持水。怒。理。屋。嘆息。登時。蒙表。那。橋。人。姑。麻。姫。の。爪。を。剪。り。毛。抜。き。形。代。り。宅。を。去。る。七。步。而。己。の。方。を。癩。ま。り。己。と。申。り。池。枝。六。合。後。の。必。姑。麻。姫。と。這。果。来。る。福。ひ。あ。ん。一。時。の。敗。れ。患。の。足。最。後。の。捷。を。全。勝。を。今。番。限。り。耐。ら。れ。持。水。憶。も。苦。笑。ひ。と。夢。の。老。師。の。教。を。儘。し。這。雷。生。埋。ま。せ。ぬ。娘。鳥。木。不。共。分。主。們。柳。橋。持。水。庭。中。を。あ。そ。び。外。面。先。を。先。の。泰。勝。媒。鳥。向。心。死。る。麻。斯。世。引。起。ん。力。去。遊。手。共。侶。主。の。後。方。に。從。へ。蒙。表。も。持。水。俱。と。庭。中。を。あ。そ。び。介。程。荷。三。郎。御。宗。泰。勝。媒。鳥。們。俱。は。姑。麻。姫。の。轎。を。衛。り。か。り。來。れ。る。角。新。參。の。身。亦。賤。か。り。け。直。入。を。許。さ。れ。去。國。の。次。の。間。取。送。され。獨。坐。夜。の。笑。初。更。も。物。唱。ら。る。者。も。多。く。泰。勝。媒。鳥。も。出。來。る。夢。の。評。り。と。肚。裏。の。事。御。宗。與。て。人。々。の。立。謀。の。聲。の。夢。を。一。個。姑。麻。姫。走。り。執。行。せ。る。所。以。あ。る。縦。免。許。さ。る。が。那。里。ま。で。い。つ。と。と。首。を。捕。り。過。あ。れ。ば。鶴。蚌。の。腐。れ。と。尋。思。し。身。を。起。し。不。知。無。内。の。間。毎。々。偷。り。見。て。迷。ひ。ま。る。其。頭。外。見。者。も。あ。れ。那。轎。子。早。居。る。坐。席。到。り。四。下。を。見。り。這。里。の。人。影。の。な。く。四。隅。植。

燭。臺。の。燭。枯。け。長。く。燃。焼。す。薄。間。燭。淚。凝。り。無。水。の。似。り。鼻。を。垂。れ。暗。く。定。め。入。語。り。の。頭。を。不。焼。捨。る。香。の。煙。の。為。顔。都。と。立。分。り。一。個。の。婦。人。の。頭。髪。を。酷。く。撥。乱。し。覆。俯。臥。さ。る。氣。息。絶。え。る。あ。い。さ。れ。荷。三。郎。の。評。り。と。も。置。れ。る。右。の。も。接。中。と。據。試。さ。る。温。を。動。脈。を。原。來。の。死。う。け。吸。活。を。胸。前。を。胸。に。鋪。突。れ。抱。起。し。火。光。中。就。て。初。を。顔。を。自。是。則。別。人。を。日。屬。る。ろ。不。堪。る。長。總。を。あ。わ。け。れ。ば。何。を。付。麻。ま。り。小。且。鶴。馬。は。且。懼。び。て。肚。裏。の。事。の。比。十。劍。破。の。宿。所。の。火。計。の。故。り。這。も。捕。捕。れ。は。雪。え。折。枝。妹。子。の。小。ま。げ。を。思。ふ。る。日。も。あ。り。か。ら。我。身。も。獄。舎。に。敷。き。下。せ。候。候。疎。る。折。り。人。同。人。の。あ。り。て。胸。を。過。す。今。宵。料。の。這。処。を。環。會。し。甚。多。く。作。麼。長。總。の。何。等。の。故。は。這。陣。館。に。在。り。て。是。事。も。事。も。髪。も。頭。髪。も。撥。乱。し。て。小。て。獨。這。里。の。あ。い。評。り。と。限。り。も。多。く。同。志。知。る。事。も。あ。り。て。肩。を。差。寄。り。喚。ん。と。左。右。を。吸。活。這。里。を。尋。ね。り。立。入。り。知。れ。て。向。ふ。る。も。得。回。り。必。疑。は。要。と。あ。れ。と。思。は。れ。左。右。の。腋。も。さ。り。修。煉。の。活。を。入。れ。長。總。怒。地。何。と。呻。り。眼。を。開。き。見。ゆ。機。地。を。荷。三。郎。の。肩。を。握。り。は。と。目。の。目。を。送。り。秋。の。波。を。姑。且。恍。惚。し。て。ま。り。の。あ。り。故。あ。る。長。總。の。長。き。柳。橋。の。機。も。あ。り。

賸推伏氣折憶之膳を撰か。呼吸僅々暢か。我もあはれ在りけ。持永王侯も駭然。紛れてる。死言猶候。埋んそ。這里の。既ふも時も根と剛才荷三郎が活を入れる。修煉の危能。心地清し。身の那香爐の頭在りて。憶も隨喜破自の香煙鼻入る。相不か。可小發動七。姑も任心平。破自の害。醉甘。荷三郎。然心もつを既。長總。卒倒本復。見自滅。密計の。密計の。車も何の死より。隆光の計。見自滅。原來自身荷三郎。別後。苦樂。報。甚麼。同。持。塵塚の會話の。過。要。説話の。轎子の。寐の。快。初。焦木杭虫。情。發陽氣。極樂の轎子。

く。風情也。引。浩。姑。捨。快。秦。揮。癖。者。是。則。別。人。本。編。張。の。荷。三。郎。長。總。と。被。わ。て。這。轎。子。中。密。會。る。鼻。息。の。音。も。下。り。し。く。猶。且。處。の。を。那。轎。子。中。情。會。る。秘。候。も。一。人。面。談。心。引。揚。出。ね。推。進。も。親。新。刀。斬。下。り。も。破。説。の。美。り。ぬ。と。心。の。兩。個。の。力。も。共。侶。中。に。轎。子。の。頭。小。枝。も。用。ん。せ。程。不。動。靜。を。見。る。蒙。裏。の。ふ。ふ。

久事の兄... 隠形の印... 開放せ... 走動せ... 忽ち中... 願せし... 御解捨... 腕を振... 人の諺... 祭長總... 穿て轎... 開へ又...  
久事の兄... 隠形の印... 開放せ... 走動せ... 忽ち中... 願せし... 御解捨... 腕を振... 人の諺... 祭長總... 穿て轎... 開へ又...

でも夜食... 頭を漫... 本と疑... 先聲高... 身を肴... 且這荷... 又姑摩... 怒り理... 這回枉... ね天明... たる名...  
でも夜食... 頭を漫... 本と疑... 先聲高... 身を肴... 且這荷... 又姑摩... 怒り理... 這回枉... ね天明... たる名...



豪袁幻術隱長繪  
 已と居り此のわらひる

有像第五十一  
 像替一十  
 五味又作  
 者所自題



佐々木

廿荷二郎

をとり

免奉養。さてかたうら。いきたて。ありて。きり。ま。なる。と。か。う。あ。ん。と。ら。ま。か。ら。の。ひ。め。み。あ。く。た。て。
表不揖之然而荷郎と聲を二回亭に投て退りけり。登時家衰其鳥衣法衣の袖の陰に隠れて差をたす。
文と念まれば怪むべし長總の形體安定頭れて忽然とて前を家衰とて對て鶴の最も危かりし。
よりまれば我身もろく人見れざるものもろくか。情と轎子に立坐てを依り身法衣の袖の陰に隠れて差をたす。
たう一鉄分詞陳も盡かたり。現再生御洪恩死かたもいふと忘る。時の侍らんとて公家衰合笑て我は左馬殿。
與の焼せ破負香の餘煙你を犯すか。不覚春の心動て荷郎共侶の轎子の中へ入らば。
難多及びしとて不覚法衣もて你と人を見ざるものもろく。素も你的心の本心ありぬ。淫奔の罪もろく。
加れ事と憐む故もろく。勿論你の當初那荷郎の哄誘を權且枕を並下りも又隆光が妻あるとて。
果て昔恨復元と思ひの我と知り。今も介るや否や。思念の外多。今宵の密會。いも佳境に入らば。
びかとも。今宵の可愛くもて。遺憾に飲甚。麻をむと。向ひ長總顔を報せ。何支も明々地過去未來も。
憑きも侍も。遠江之荷郎の獄舎苦難と極れ。思ひ似て。思ひも。小夜郎交隆光三那奴。
忘れぬ。破負香の奇特を。凡我も。中へ。鶴那奴と宿せ。欲す。折は。只夢に似て。恥も。悔も。腹穿

七位を。今宵の可愛くもて。遺憾に飲甚。麻をむと。向ひ長總顔を報せ。何支も明々地過去未來も。
と。い。ひ。く。も。侍。も。遠。江。之。荷。郎。の。獄。舎。苦。難。と。極。れ。思。ひ。似。て。思。ひ。も。小。夜。郎。交。隆。光。三。那。奴。
落き。水。劫。海。に。願。わ。れ。ば。さ。ま。の。鏡。を。も。と。推。解。し。豪。衰。眼。を。睜。し。任。の。れ。非。も。ろ。く。
悪。今。宵。の。事。も。就。盛。主。も。左。馬。殿。も。き。て。折。多。知。り。後。悔。も。ろ。く。權。と。故。意。を。と。ま。す。と。
時。と。引。林。で。て。真。実。不。と。さ。ま。の。後。の。世。の。罪。障。を。争。何。せ。ん。と。家。衰。う。ち。笑。ひ。て。死。し。の。後。の。地。獄。も。
は。世。の。極。樂。光。導。人。快。れ。と。い。ひ。く。も。侍。も。被。音。破。戒。隨。落。密。婦。隨。喜。破。負。香。法。衣。の。袖。に。
現。徳。江。三。惡。道。右。杖。を。放。逐。か。暗。々。と。伴。け。り。程。小。泰。勝。の。心。も。ろ。く。荷。郎。の。勤。も。ろ。く。
會。抱。て。飲。み。酒。を。喫。し。他。心。を。安。し。語。次。不。敬。尊。を。低。坐。和。郎。の。脱。落。も。ろ。く。
ま。落。入。り。轎。子。に。躲。れ。る。実。小。專。女。長。總。と。情。申。あ。り。け。り。飲。甚。麻。を。む。と。向。ひ。荷。郎。に。
る。那。長。總。小。可。遠。江。之。危。窮。を。救。ひ。て。這。地。恨。を。來。ぬ。比。比。旅。宿。も。ろ。く。
投。名。状。の。ゆ。に。五。十。檀。雷。次。小。與。下。か。も。陰。裏。真。の。離。縁。も。ろ。く。介。る。亦。奇。の。隆。光。を。密。訴。の。後。獄。舎。未







開卷驚奇俠客傳第四集卷之五終

治

治

治

此書之合と談をきく。知らるる。姑麻姫と婚姻の一條。初那水人。不祥之。還て。取。か。恨。不。堪。途。途。奪。奪。命。を。謀。り。夏。趣。齊。天。の。誓。查。也。亦。知。れ。り。今。内。隱。志。も。あ。ら。ず。既。し。本。意。の。如。く。他。が。上。境。の。折。張。兵。母。多。遣。之。轉。子。依。奪。命。を。我。這。伯。所。為。て。未。け。り。只。今。の。同。姓。王。准。之。姫。也。山。様。を。開。果。出。て。為。休。箇。様。を。以。て。恨。を。查。り。か。再。度。恥。辱。を。遇。ふ。那。隨。中。之。寢。と。昔。胡。盧。果。あ。ら。ず。却。い。て。昔。素。懷。を。遂。願。の。誨。也。支。他。事。も。多。情。語。を。就。盛。明。沈。吟。と。悖。り。上。尚。春。秋。富。め。血。氣。の。果。寺。性。急。也。支。の。敗。れ。る。事。も。一。顧。不。機。變。を。ま。き。り。の。敵。も。亦。機。變。と。答。へ。ぶ。ら。ん。因。て。忠。告。仕。ん。今。より。卑。職。不。儘。一。の。這。婚。姻。の。媒。妁。と。必。救。亦。ん。系。持。承。感。服。く。且。然。と。大。き。く。亦。甚。麻。身。妙。策。を。向。六。就。盛。聲。之。情。也。約。這。婚。姻。の。三。種。の。修。法。也。然。る。第。一。法。は。死。を。か。り。て。人。を。滿。室。せ。り。と。二。の。法。は。人。を。免。許。し。て。及。取。第。三。法。は。射。米。の。義。を。没。官。せ。り。と。三。の。法。は。短。刀。菊。水。の。旗。錦。御。旗。楠。氏。の。舊。記。を。以。て。甘。き。欲。し。と。之。を。愛。す。る。心。を。最。也。必。許。さ。る。と。三。種。の。法。と。一。の。法。と。の。那。妙。引。き。第。一。の。大。綱。第。二。は。四。年。の。春。卑。職。年。始。の。拜。賀。と。七。上。境。折。便。

開卷驚奇俠客傳第四集卷之五終

治

治

治

治

治



○著作堂千集開卷驚奇俠客傳第四集畫者筆工刷目次 羣玉堂藏梓

出像 二世 柳川重信

澤書 第一卷 墨田金 仙橋

第二卷 淺倉伊八

第三卷 櫻木藤吉

第四卷 横田三

第五卷 田中三

○曲亭翁新編國字稗史近刻畧目 書林 羣玉堂刊行

開卷驚奇俠客傳第五集 每集五卷 第一集より第三集まで追々賣出置の

近世説美少年録第四輯 每集五卷 第一輯より第三輯まで共計二十五巻追々

水滸後畫傳第一集 每集五卷 二世柳川重信画 第一集近日刊行

水滸畧傳第一集 每集五卷 柳川重信画 第一集近日刊行

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

天保六年乙未春正月吉日發行

江戸小傳馬町五町目

丁子屋平兵衛

大阪心齋橋筋博勞町

河内屋茂兵衛板

書林

伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香 伏見の仙女香

